

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	English C		
英文授業科目名	English C		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 知能機械工学科		
担当教官名	山田 直道		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
cc00341@srv.cc.hit-u.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
(a) 主題：基本的な英語の知識と読解力を整備し、加えて発展的な精読力・多読力を培う。
(b) 達成目標：Collocationを意識しながら、パラグラフ毎の意味をまとめる力の養成。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし。

<b>【教科書等】</b>
金曜1時限：『マッカーズ/パーカー/キャザー』英宝社（前期で使用したのと同じ。但し、授業ではキャザーの中編小説を読む。）
金曜2時限：『現代イギリス短編集II』英宝社（前記で使用したのと同じ。但し、授業では前期に読んだ短編以外を読む。）

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

特異な分野の専門的な内容ということではなく、ある意味で人間社会の普遍的な問題を提起する日常的かつありふれた状況を活写している小説を、辞書に丁寧に当たりながら読み進んで行く。毎回数名の担当者を事前に決めレポートしてもらい訳読形式。質問受付の時間帯を授業時間内に設ける。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法：出席、レポーターのパフォーマンス等の平常点30% 期末試験70%
- (b) 評価基準：English Cに相応しいCollocation、Vocabularyを学習することを最低達成基準とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

特には設けない。  
上で記したように、質問受付の時間帯を授業時間内に意識的に設ける。

### 【学生へのメッセージ】

言葉のもつ意味の広がり、深さに興味を持って欲しい。それが物を考える力の基本にあることを意識して欲しい。

### 【その他】